

第 2 学年 *組 国語科 学 習 指 導 案			
平成 *年 *月 *日 ( * ) 第*校時 ** 教室 指導者 ** **			
育成する国語の能力	文章特有の表現を味わったり、語句の用いられ方について理解を深めたりすること。		
単元目標	<p>○詩特有の表現に興味をもち、進んで詩を読み味わおうとする。(関心・意欲・態度)</p> <p>○優れた表現を味わったり、詩に描かれている内容を読み取ったりすることができる。(読む能力)</p> <p>○体言止め等、詩特有の表現技法について知り、言葉の効果的な表現について理解している。(知識・理解)</p>		
単元の評価規準	関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
	詩特有の表現に興味をもち、詩を読み味わおうとしている。	①詩のリズムや、表現の美しさ、深さ、面白さなどを読み味わっている。 ②詩に描かれている内容を読み取っている。	詩の表現技法や言葉の効果的な表現について理解している。
取り上げる言語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館等を利用して同じ作者の作品を読み比べる。</li> <li>・互いに読み合い、交流しながら鑑賞文にまとめる。</li> </ul>		
題材(教材)	詩 『永訣の朝』 宮沢賢治 展開 現代文(桐原書店)		
単元(教材)について	<p>(1)教材観：詩の表現を味わい、その表現技法や語句の使われ方について理解することができる。</p> <p>(2)生徒観：生徒の多くは、詩の授業はあまり好きではない。だが、小・中学校で学んだ詩を覚えていたり、自分で詩を創作したいという欲求をもっていたりするなど、詩への興味をもつ生徒もいる。</p> <p>(3)指導観：教科書だけでなく、様々な詩作品を配布し、生徒に詩を読む機会を与え、音読の回数を確保し、詩のもつリズムを感じさせたい。</p>		
指導計画(学習計画)	主な学習活動		主な評価
	<p>1 単元の教材「永訣の朝」を音読し、詩の表現を味わい、詩を読み取る。</p> <p>2 事前に配布した5人の作者の25編の詩の中から自分の気に入った作品を選び、作者や作品についてインターネットや学校図書館等様々な方法で調べる。</p> <p>3 友人と作者や作品について調べたことを話し合い、詩の読みを深め、鑑賞文を書く。</p> <p>4 自分と同じ作品を選んだ友人と鑑賞文を交流し、まとめの朗読発表をする。</p>	<p>・詩のリズムや優れた表現を味わい、読みを深めている。(読む能力②)</p> <p>・詩特有の優れた表現に興味をもち、学校進んで作者や作品について調べようとしている。(関心・意欲・態度)</p> <p>・表現の美しさ、深さ、面白さなどを味わっている。(読む能力①)</p> <p>・詩の表現技法や言葉の効果的な表現について理解している。(知識・理解)</p> <p>・表現の美しさ、深さ、面白さなどを味わっている。(読む能力①)</p> <p>・詩特有の表現に興味をもち、詩を読み味わおうとしている。(関心・意欲・態度)</p>	

本 時 案 (第4次の第1時)

<p>本時の目標</p>	<p>・表現の美しさ、深さ、面白さなどを味わうことができる。(読む能力)</p>	
<p>学習活動</p>	<p>指導上の配慮事項など</p>	<p>評価・方法など</p>
<p>1 本時の目標の確認。</p>	<p>○本時の目標を説明する。</p>	
<p>鑑賞文を発表して、詩の読みを深めよう。</p>		
<p>2 同じ作品を選んだ生徒同士で集まって鑑賞文を発表し合う。</p>	<p>○ワークシートを配布し、シートを見ながら本時の目標と活動内容を確認する。</p> <p>○同じ作品を選んだ人同士でグループを作る。</p> <p>○グループ内で順番に鑑賞文を発表させる。</p> <p>・新たに気付いたことや分かったことをワークシートにメモするよう指示する。</p> <p>・ワークシートに書けない生徒には、友人との共通点や相違点について書くように助言する。</p> <p>○鑑賞文の交流を通し、グループ内で改めて詩を読み合う。</p> <p>・その詩にあった声の大きさや読む早さを工夫するように指示する。</p> <p>・早く終わったグループには次時の内容を伝え、詩の朗読方法について話し合うように指示する。</p>	<p><b>評価</b> 表現の美しさ、深さ、面白さなどを味わっている。 (読む能力)</p> <p><b>評価方法</b> 発表をしたり、聞いたりする様子の確認とワークシートの点検。</p> <p><b>努力を要する生徒への手立て</b> 表現の美しさ、深さ、面白さなどに注目できない生徒には、友人との共通点や相違点について注目したことから考えを広げるように助言する。</p>
<p>3 詩の朗読の方法を話し合う。</p>	<p>○次時は、鑑賞文の発表とグループで選んだ詩をクラスで朗読発表することを伝える。</p> <p>○詩の朗読の方法についてグループ内で相談させる。</p> <p>・グループ内で話し合い深めた内容を活かせる朗読となるよう、連ごとに皆で読んだり、一部分を皆で読んだりする工夫をするよう助言する。</p> <p>・他の友人にも詩の良さが伝わるような朗読になるよう指示する。</p>	
<p>4 次時の予告を聞く。</p>	<p>○次時は詩の朗読発表をするのでグループ内で練習をしておくことを伝える。</p> <p>○ワークシートを提出させる。</p>	